

## 経尿道的水蒸気治療 (Water Vapor Energy Therapy : WAVE)



内視鏡の先端に取り付けた器具から水蒸気を発生させ、肥大した組織の細胞を壊死させることで前立腺肥大症を治療する術療法です。壊死した細胞は1~3カ月かけて自然に体内に吸収され、肥大した前立腺が小さくなつて尿道が広がり、排尿に関わる症状が改善されます。手術時の出血がほとんどなく、手術に要する時間・入院期間ともに短くなっています。身体への負担が比較的少ないとから、合併症のリスクが高い患者さん、また高齢であることや認知機能障害など、術後の身体機能低下リスクが高く、従来の手術が困難な患者さんに、この手術が検討されます。



- 手術の所要時間

前立腺の大きさにもよりますが、20分程度。麻酔は脊椎麻酔または全身麻酔となります。

- 入院期間

3~4日程度（患者さんの状態や医療機関によって異なります）



### WAVE 治療のメリット

手術に要する時間は短く、出血もほとんどなく、入院期間も数日と短いこと、患者さんの体への負担が従来の手術よりも少ないことが最大のメリットと言えます。持病をお持ちの方、高齢の患者さんのような、他の手術ではリスクが高い方がこの治療の適応となっています。

水蒸気は組織の中で均一に速やかに加温できる特性があり、前立腺の表面を温めて組織の中まで伝播させる従来の温熱療法と比べると、膀胱刺激症状（痛みや頻尿）が少ない。また、尿道の粘膜自体にはほとんど損傷を与えないで、いわゆる灼熱感や排尿時痛などの刺激症状も出にくくなっています。

従って、手術後に患者さんが鎮痛薬を使う頻度も少ない。前立腺肥大症の患者さんの約半数で過活動膀胱を合併していますが、WAVE 治療を行うことによって、その約半数が過活動膀胱の症状も改善され、蓄尿症状も取れています。射精障害もなく、性機能を温存できる可能性が高いこともこの治療のよい点です。

手術後のお薬については、 $\alpha$ 1遮断薬を1ヵ月間ぐらい飲んでいただく場合があります。

### WAVE 治療のデメリット

手術後、症状の改善までに数週間から3ヵ月と少し時間がかかります。これは壊死した細胞を吸収する時間が必要だからです。また、尿道にカテーテルを入れておく日数が他の治療より若干長い場合があります。当院では入院期間が2泊3日～3泊4日で、退院時にもカテーテルを入れたまま帰宅していただき、手術から3～4週間後の診察時に抜くというスケジュールです。前立腺が巨大である場合は、治療できない場合や複数回手術を行う必要があることがあります。カテーテルを抜いた後は通常に排尿できるようになります。